

# みどりとともに

第 17 号

2009 年 1 月 1 日

社団法人 茨城県治山林道協会

水戸市三の丸 1 丁目 3 番 2 号

林業会館 3 階



## ❖❖❖❖ も く じ ❖❖❖❖

新年のごあいさつ.....	2
林地荒廃防止施設災害復旧工事が竣工.....	3
日立市の森林整備について.....	4
最近の森林組合事情.....	5
協会だより.....	6~7
治山・林道関係コンクール審査委員会開催	
協会の主な動き.....	8





## 新年のごあいさつ

(社)茨城県治山林道協会会長 山口 伸 樹



あけましておめで  
とうございます。  
皆様方には、清々  
しい新年をお迎えの  
こととお慶び申し上

げます。

また、日頃より当協会の運営に対しまして、  
格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上  
げます。

さて、昨年は、協会創立60周年及びコンサル  
タント業務開始30周年という節目の年にあたり、  
功労者表彰を行うとともに、記念誌の発行に向  
けて編集に取り掛かったところがございますが、  
12月1日には、公益法人制度改革関連3法が施行  
となり、今後の業務内容について、公益性を一  
段と高めることが求められております。

一方、6月14日には、岩手宮城内陸地震によ  
り甚大な災害を引き起こしましたが、このほか

にも近年の異常気象等による局地的・時間的な  
豪雨や台風などにより列島各地で大きな山地災  
害が発生しております。

森林は、このような災害から県土を保全する  
とともに、地球温暖化の防止や水源の涵養など  
をはじめとする様々な公益的機能を発揮し、県  
民の生活を守る大きな役割を果たしております。

これら森林の持つ多様な機能を十分に発揮さ  
せるには、森林を健全に整備・保全する必要が  
あるため、県では、森林湖沼環境税を導入して  
間伐などの森林整備を強力に進めることにして  
おりますが、その基盤となる林道の整備や治山  
事業を推進することが極めて重要であります。

このような中、当協会の果たすべく使命を充  
分に認識し、事業が円滑かつ効率的に推進する  
ように努めてまいりますので、本年も、なお一  
層のご高配を賜りますようお願い申し上げます  
とともに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈  
念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 新年のごあいさつ

茨城県農林水産部長 斉藤 久 男



新年あけましてお  
めでとうございます。  
皆様には清々しい  
新春をお迎えのこと  
とお慶び申し上げます。

昨年は本県の森林の保全・整備を推進するう  
えで、画期的な取組となる「森林湖沼環境税」  
につきまして県民の皆様方からのご協力をいた  
だき導入することができました。県では、この  
財源を有効に活用し大切な森林を次の世代に引  
き継いでいくため、「緑の環境システム」の確  
立に努めているところでございます。特に、森  
林の荒廃防止や県産材の利用拡大は重要な課題  
となっていることから、間伐や木づかい運動  
の推進等各種施策を積極的に展開してまいり  
たいと考えております。

最近になり、木材需要の増加や材価の上昇な  
ど、森林・林業を取り巻く環境は好転の兆しを

見せています。この兆しを確実にとらえ、未  
来につないでいくためにも森林整備の推進が一  
層重要であることから、その基盤である林道な  
どの路網整備は必要不可欠でありますので、奥  
久慈グリーンライン林道整備事業をはじめ各種  
事業を計画的に進めてまいりたいと考えており  
ます。

また、治山事業につきましては、山地災害の  
防止や保安林としての機能の維持・向上を図り、  
かつ県民の安全・安心な生活を守る事業でござ  
いますので、今後も計画的・効率的に整備を進  
めてまいります。

最後に、本県の林業を活性化し、森林の持つ  
公益的機能を十分に発揮させるため、今後も各  
種の施策を推進してまいりますので、引き続き  
ご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、  
皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたしまして、  
新年のご挨拶といたします。

# 林地荒廃防止施設

## 災害復旧工事が竣工

茨城県県北地方総合事務所森林土木課

平成18年10月6日から7日にかけて、本県の太平洋沖を猛烈に発達した低気圧が通過し、鹿島港沖ではパナマ船籍の鉄鉱石運搬船である「ジャイアント・ステップ」(98、587t)が、暴風に煽られ座礁する事故が発生したのは記憶に新しいことと思います。

この時、日立港では最大風速19.7m/sの暴風を記録し、この暴風に伴う波浪により、当事務所管内では、日立市十王町伊師地区と那珂郡東海村白方地区において、海岸防災林(飛砂防備保安林)を保全するために設置した治山施設(防潮護岸工)が倒壊し人工砂丘が決壊するなど、2地区で約13億円の大きな被害を受けました。

このことから、被災した施設の早期復旧を図るため、国庫補助事業である林地荒廃防止施設災害復旧事業による復旧工事に着手し、この度、日立市十王町伊師地区の復旧工事が竣工しました。



被災直後の状況(日立市十王町伊師地区)

日立市十王町伊師地区の海岸防災林は、太平洋からの飛砂等の被害を防止するためのもので、背後地となる内陸部には、住宅、国道6号線、JR常磐線及び農地があり、これらを保全するための重要な森林として、昭和29年に飛砂防備保安林に指定されました。これまでこの保安林を波浪等による海岸浸食から守るために、平

成5年度から海岸防災林造成事業等により防潮護岸工や人工砂丘等の施設整備を行い、海岸防災林の保全と造成を図ってきたところであります。

今回の災害工事を行うにあたっては、経済性・施工性はもとより、再度の被災を受けることなく施設の効果を十分に発揮できるように、被災前の構造に改良を加え、人工砂丘をコンクリートで保護する天端被覆工を導入することといたしました。

工事施工中も波浪等による施工区域内の冠水など、近年希に見る難工事ではありましたが、平成20年11月に無事竣工することができました。



竣工状況(日立市十王町伊師地区)

この間、格別のご支援、ご協力賜りました関係者の皆様がこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今回の災害だけでなく、近年、世界各地で地球温暖化の影響と思われる異常気象による自然災害が多発していますが、森林の持つ多面的機能の発揮はもとより、県民の皆様が安全で安心できるくらしの実現のためにも低コストでより効果の高い治山事業を実施していきたいと考えております。



町から  
村から

## 日立市の森林整備について

日立市産業経済部農林水産課

### 1.はじめに

日立市は、茨城県の北部、太平洋側に位置しており、市域全体は阿武隈山系の南端に当り、北西部に堅割山、神峰山、高鈴山を主峰とする600m級の山々が連なっております。

全体の地形は、この南北に伸びる山系から太平洋側に向かって傾斜地が大半で、平地は沿岸部の狭い部分のみであり、河川は市街地の中心部を流れる宮田川をはじめ、数本が太平洋側に流れ込み、南端には久慈川が流れております。

平成16年11月1日隣接する十王町との合併により、総面積22,555ha、人口20万人弱を有し、工業を中心とした都市として発展してきました。

日立市の山林は、阿武隈山系を中心に広がり、森林面積は13,040haで総面積の6割を占めております。



森林機能緊急回復整備事業施行予定地  
「大久保町地内」

### 2.森林整備の推進

森林整備については、平成20年度から導入された森林湖沼環境税を活用した「森林機能緊急回復整備事業」により、山間部を中心に今年度は89haの森林の間伐を実施し、荒廃した森林の整備を図ります。

また、同じ活用事業の「身近なみどり整備推進事業」により、小貝ヶ浜緑地や小木津山自然公園の松くい虫被害跡地の枯損木の伐採等を推進してまいります。



身近なみどり整備推進事業施行予定地  
「小木津山自然公園」

### 3.おわりに

森林・林業を取り巻く状況は、森林所有者の高齢化や後継者不足等により、森林に対する関心の低下や森林の放置化が進み、間伐等の森林整備が停滞し、森林の持つ公益的機能の低下が危惧されております。

今後も、間伐等を効果的・集中的に実施すりことにより、本来、森林が発揮すべき公益的機能の早期回復を図るため、一層努力する所存であります。

森林ネットワーク

# 最近の森林組合事情

## 茨城県森林組合連合会

今、国産材の需要が伸びています。しかし、住宅着工数が減少し、原木消費量や価格に再び暗雲が立ち込めています。昨今の急激な円高は、製材業界に輸入製品との厳しい競争を強いており、大型工場化等の業界再編がますます進む様相を呈しています。

このような中、我々森林組合は様々な課題を抱えつつも地域の森林保全のために活動しているところです。克服せねばならない重要な課題の一つは、組合員の組合離れがあります。昭和45年の県内総組合員数は、2万4千人でしたが、平成18年には1万2千人まで減少しています。組合員に情報やサービスをいかに提供していくかが森林組合に問われています。

また、現場従業員の高齢化・減少も深刻です。平成16～18年において壊滅的材価であったこと、また公共事業等が激減したこと等により、作業員の請負化やリストラが急速に進みました。若い人を採用し、後継者を育成することはとても考えられない状況であったのです。職員の作業員化・給与等のカット、役員の報酬カット等形振り構わぬ合理化で何とかしのいで来たのです。赤字決算の組合も多数出現しました。



国際協同組合デー2008で講演する木崎会長

平成10年までは年間概ね5～6万 $\text{m}^3$ の実績があった林産事業でしたが、材価の低迷と作業員の高齢化等が原因で、その後急激に減少し平成18年には2万5千 $\text{m}^3$ にまで落ち込んでいます。

現在、スギ丸太の平均価格が1万2千円位に戻っていますし、地球温暖化防止対策や森林湖沼環境税等の事業で森林整備に予算が沢山つけられていますので、ここで経営基盤を強固にし「後継者の育成」と「組合員とのきずな強化」を図っていかねばなりません。

森林組合では、今やっと遅ればせながら「緑の雇用担い手対策事業」を活用して後継者を育成することに取り組んでおります。研修・資格取得による人材育成・確保に努めるとともに、高性能林業機械の導入等による低コスト林業も目指しているところでもあります。

丸太の価格補償や森林所有者の所得補償等を国や国民に求めていくことも必要ですが、自助努力も重要です。



不在村組合員との林業相談会  
(ふるさと森林会議)

環境問題が重要視される現代らしく、子供達の森林・林業体験学習への協力要請が森林組合にも頻繁に来るようになっており、積極的に協力しているところでもあります。あらためて森林や森林組合の重要性を認識している昨今であります。

農協・漁協・生協と提携し食糧や環境問題、山村再生へも取り組んでいかねばなりません。やらねばならない事が、山積している森林組合です。

# 協会だより

## 1. 治山・林道関係コンクール審査委員会開催

平成20年8月27日（水）、水戸市において平成20年度茨城県民有林治山・林道関係コンクール審査委員会を開催いたしました。

この審査委員会は、茨城県民有林治山・林道関係コンクール実施要領に基づいて毎年行っているもので、今年度は7月8日付けで、県林業課長あてにコンクール対象工事箇所の一覧表の提供依頼を行ったほか、会員の市町村には、林道維持管理コンクール実施の通知をしました。その結果、今年度は治山工事、林道工事、治山木材使用工事、林道木材使用工事、林道維持管理各コンクール併せて61件が対象となりました。

コンクール対象となったものの中から、7月23日に県の各担当者の方から現地の状況や工事の完成度などの意見を聞きながら絞り込みを行い、絞り込まれたものについて現地確認を行い、審査委員会に諮ることになりました。



コンクール審査委員会の様子

審査委員会当日は鬼澤林業課長の進行により、現地確認の結果や現地写真等を参考にして、審査委員の協議により順位を決定しました。

なお、今年度は木材使用工事(施工部門)については、対象件数が少ないため、治山工事と林道工事を併せて順位の決定を行いました。また、中央協会に推薦するものについては、中央協会の

実施要領に基づき決定しました。

審査委員名簿・審査の結果は次の通りです。

### 《審査委員名簿》

◎印委員長○副委員長

所属課所	職名	氏名
茨城県農林水産部 林業課	課長	◎鬼澤 昭和
茨城県農林水産部 林政課	首席検査監	○楡井 真一
県北地方総合事務所 森林土課	課長	川野 和彦
県北地方総合事務所 森林土木課大子分室	技兼分室長	大森 富美男
鹿行地方総合事務所 農林課	課長	山根 隆重
県南地方総合事務所 林務課	課長	星 義雄
県西地方総合事務所 農林課	課長	立原 正文
(社)茨城県治山林道協会	専務理事	海老根 四郎

### 《審査の結果》

#### 1. 治山工事

順位	事業名	請負業者	備考
1	予防治山第2号	常陸太田市 武藤建設(株)	
2	県単山地治山第19号	日立市 (株)吉田組	
3	復旧治山第2号 平成18年度繰越分	大子・町 大森建設(株)	
4	予防治山第1号 平成18年度繰越分	北茨城市 大北産業(株)	
5	水源流域地域保全第1号 平成18年度繰越分	大子町 吉原建設工業(株)	
6	予防治山第12号 平成18年度繰越分	石岡市 小桜建設(株)	
7	予防治山第10号 平成18年度繰越分	桜川市 (株)小高工業	



## 2. 林道工事

順位	事業名	請負業者	備考
1	奥久慈グリーンライン林道第1号北吉沢下野宮線	大子町 海老根建設(株)	
2	奥久慈グリーンライン林道第5号水根持方線平成18年度繰越分	大子町 (株)藤田工務店	
3	県単林道開設事業平野線	桜川市 (有)酒寄工務店	
4	県単林道開設事業膳部沢線	常陸大宮市 (有)岡崎工業所	
5	奥久慈グリーンライン林道第12号武生線	常陸太田市 (株)後藤工務店	
6	国補林道開設事業半田線(1工区)	石岡市 浜田建設工業(株)	



林道工事「奥久慈グリーンライン林道第1号北吉沢下野宮線」

## 3. 治山・林道木材使用工事【施工部門】

順位	事業名	請負業者	備考
1	奥久慈グリーンライン林道第5号水根持方線平成18年度繰越分	大子町 (株)藤田工務店	林道工事
2	保安林改良第2号	水戸市 茨城県森林組合連合会	治山工事
3	奥久慈グリーンライン林道第12号武生線	常陸太田市 (株)後藤工務店	林道工事
4	保安林改良9号	大子町 大子町森林組合	治山工事



木材使用工事「奥久慈グリーンライン林道第5号水根持方線平成18年度繰越分」

## 4. 林道維持管理

順位	路線名	管理者	備考
1	上原東金砂線	常陸太田市	
2	雪入線	かすみがうら市	
3	峰岸線	北茨城市	



林道維持管理「上原東金砂線」

○ 協会の主な動き ○ 7月～12月

- ▲ 7月9日  
公有林野全国協議会通常総会(東京都)  
7月10日  
(社)茨城県林業協会 第2回幹事会(水戸市)  
7月11日  
公益法人制度改革説明会(水戸市)  
7月17日～18日  
関東甲静地区治山林道協会連絡協議会  
第29回通常総会(東京都)
- ▲ 8月7日  
(社)日本治山治水協会通常総会  
及び創立70周年記念表彰式(東京都)  
林業、木材産業振興について  
茨城県知事へ要望(水戸市)  
8月19日  
創立60周年記念誌編集委員会(水戸市)  
8月26日  
第14回県関係団体役員等懇談会(水戸市)  
8月27日  
茨城県民有林治山・林道関係コンクール  
審査委員会(水戸市)  
8月29日  
関東甲静地区常勤役員会議及び平成21年度  
治山林道事業中央要望(東京都)
- ▲ 9月2日  
自民党政務調査会農林水産部会〔県政要望〕(水戸市)  
9月24日～25日  
第48回治山研究発表会(東京都)  
9月25日  
全国治山林道協会会長会議(東京都)  
9月29日  
「地球環境を考える」県民フォーラム(水戸市)
- ▲ 10月7日～8日  
役員現地研修会(新潟県)  
10月14日  
10月期 公益法人定例講座(東京都)  
10月22日  
第44回林道研究発表会(東京都)  
10月23日～24日  
北関東治山林道協会連絡会議(栃木県)
- ▲ 11月6日  
日本林道協会監事会  
11月11日  
(社)茨城県林業協会 第3回幹事会(水戸市)  
11月13日  
平成20年度茨城県表彰式(水戸市)

- 11月19日  
日本林道協会理事会・通常総会(東京都)  
治山・林道コンクール表彰式(東京都)  
新公益法人制度に関する説明会(水戸市)
- 11月20日  
日中平和友好条約締結30周年記念  
日中友好拡大県民の集い(水戸市)
- 11月22日  
いばらき森林の感謝祭(水戸市)
- 11月26日  
第2回 理事会(水戸市)
- 11月27日  
公益法人実務研修(水戸市)
- 11月29日  
県民参加の森づくり推進事業(城里町)
- ▲ 12月12日  
林野公共事業推進本部開き(東京都)
- 12月15日  
美しい森林づくり大会(水戸市)
- 12月24日  
林業関係団体懇談会(水戸市)
- 今後の予定
- 1月23日  
平成21年林業団体合同新年の集い
- 1月28日  
全国治山林道協会会長会議  
民有林振興会総会・セミナー
- 2月17日～18日  
治山林道コンサルタント技術研究会

「みどりとともに」

(年2回 発行)

社団法人 茨城県治山林道協会

編集・発行 山口 伸樹

水戸市三の丸1丁目3番2号  
林業会館3階

TEL 029-225-7280

FAX 029-225-7582

<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>

e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp

表紙の写真:「芽吹き」(水戸市森林公園)  
佐藤征男氏撮影